

グリーンスローモビリティ ～実証調査の応募説明会～



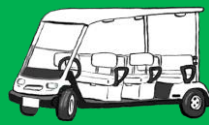
千葉市
CHIBA CITY

千葉開府
since 1126

Road to
900

都市局 都市部 交通政策課

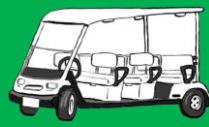
①



1. 令和5年度 公募の概要
2. 令和5年度 公募の要件
3. 留意事項
4. 地区選定後の大まかな流れ
5. 短期実証調査後の想定スケジュール
6. これまでの取組み事例の紹介

(参考) 令和2・4年度 短期の実証調査地区

(参考) 令和5年度 中長期の実証調査地区



グリーンスローモビリティ（グリスロ）とは

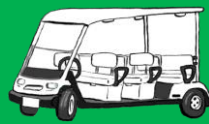
時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用したモビリティ

本市では、スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域等において、地域が主体となりグリーンスローモビリティを運行し、持続可能な地域交通モデルを確立する取組みを進めています。

グリーンスローモビリティの特徴

- ①電動車であるため静寂であり、車内外でコミュニケーションが容易
- ②車両が小さく、狭い道も走行可能
⇒これまでの実証調査の結果で明らかになりました。





現在千葉市で導入している車両

- ヤマハ発動機 ゴルフカート型（7人乗り）
- 長さ約4cm、幅約1.4cm、高さ約1.8cm
- 走行可能距離 30～40km
※8時間でフル充電
- 普通自動車運転免許取得者が運転可能
（運転手講習会の受講が必要）



令和5年度に車両を購入する予定です。
実証調査に使用する車両は他のメーカー製品を含めて
調整中です。



応募対象者

応募者の要件は、以下のいずれかの団体です。

- 町内自治会などの地域団体
- 特定非営利活動法人（NPO法人）
- 民間企業

公募期間

令和5年9月13日（水）～10月12日（木）

（17時必着）

➡ 12月上旬を目途に公募地を決定します⑤

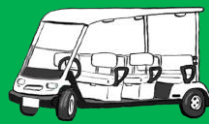


提出書類

- (1) 応募申請書 (2) 実施計画書

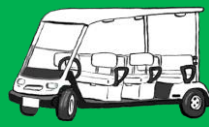
実施計画書の記載事項について

- ① 代表者、窓口となる担当者
- ② 地域の課題
(スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域など)
- ③ 実証調査の概ねの希望時期
- ④ 運行時間帯



実施計画書の記載事項について

- ⑤ 走行予定のルート図（添付書類）
- ⑥ 車両保管場所（走行予定のルート図に記入）
- ⑦ バス路線との競合有無
- ⑧ 運行スタッフの概ねの人数
- ⑨ アンケート調査協力有無
- ⑩ 実証調査を希望する理由
- ⑪ 地域で独自に取り組んでいること



- ①千葉市内を走行するルートであること
- ②町内自治会などの地域団体、特定非営利活動法人（NPO法人）、民間企業であること
- ③走行ルートは地元住民・地元企業や警察等と調整していること
- ④屋根付き車庫、充電設備を用意できる場所があること
- ⑤運行スタッフのめどがついていること
- ⑥運賃は無料で運行すること
- ⑦アンケート調査などに協力できること

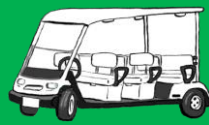


地域が主体となって運営する活動ですので、
地域の理解が必要不可欠です

実証調査については、次のことに留意してください。

- ①実施計画については、関係機関に相談や調整をしながら作成しましょう。
- ②車両の充電設備はコンセントの改修が必要です。
- ③実証調査期間は概ね2週間以上とします。
- ④風水害警報が発生する可能性がある日は運行を中止します。

04 地区選定後の大まかな流れ



- ①関係機関への相談・調整
- ②運行スタッフの確保及びシフト表作成
- ③実施計画の見直し
- ④地区内に実証調査実施の周知
- ⑤看板・時刻表の設置
- ⑥安全運転講習会の実施
- ⑦実証調査開始
- ⑧アンケート調査（運行スタッフ・利用者・地域住民）
- ⑨市へアンケート結果を報告
- ⑩



05 短期実証調査後の想定スケジュール

事前準備

短期実証調査の実施に向けた準備を進めます。

●短期実証調査の実施（2～3週間程度）

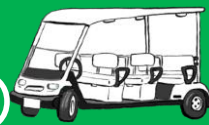
短期実証調査の効果検証を行い、次のステップに進むための準備を進めましょう。
検討のスピードは地域によって異なります。地域の特性に応じて、無理なく活動を継続していきましょう！

●中長期的な実証調査（3カ月～6カ月程度）

中長期実証調査の効果検証を行い、次のステップに進むための準備を進めましょう。
検討のスピードは地域によって異なります。地域の特性に応じて、無理なく活動を継続していきましょう！

●グリスロの本格稼働

令和6年度実証調査を実施した地区については、その結果を踏まえて、本格的な導入に向けた方向性（長期的な実証調査の必要性）などについて、地域のみなさまと市で話し合っていくしましょう。



実証調査の様子



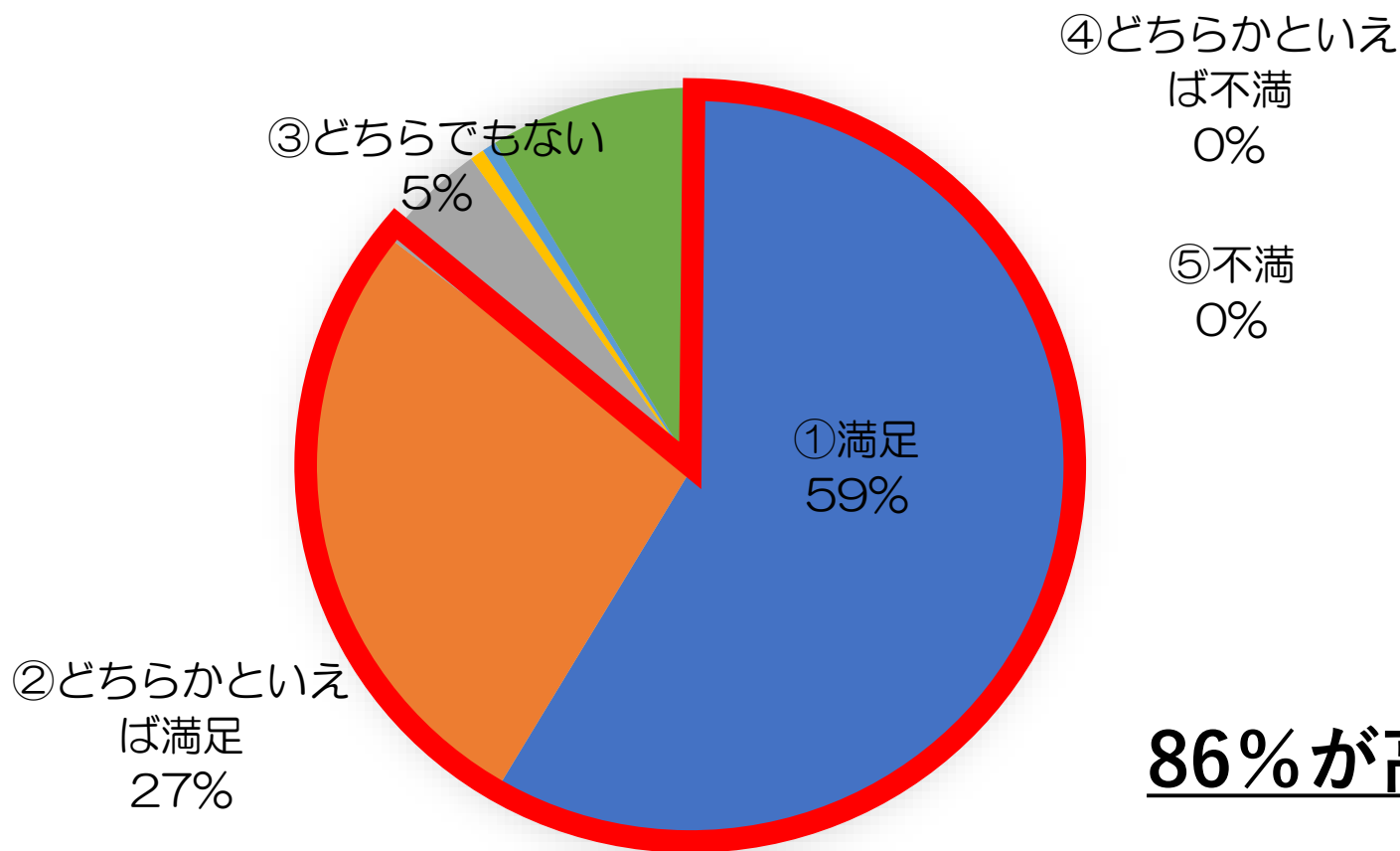


利用者アンケート結果

満足度

⑥無回答
9%

N=334

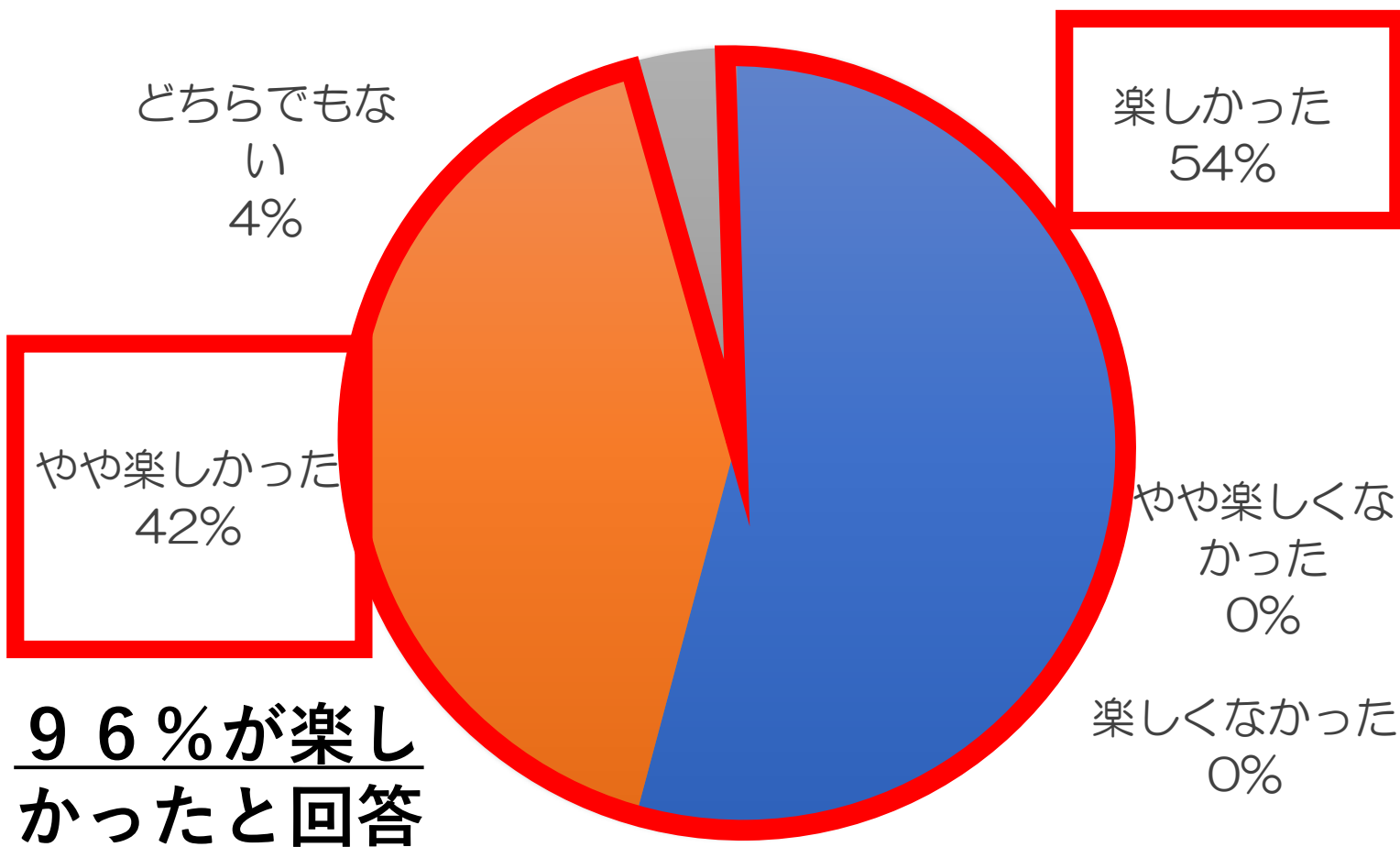
**86%が高評価**



運行スタッフアンケート結果

運転して楽しかったか

N=24

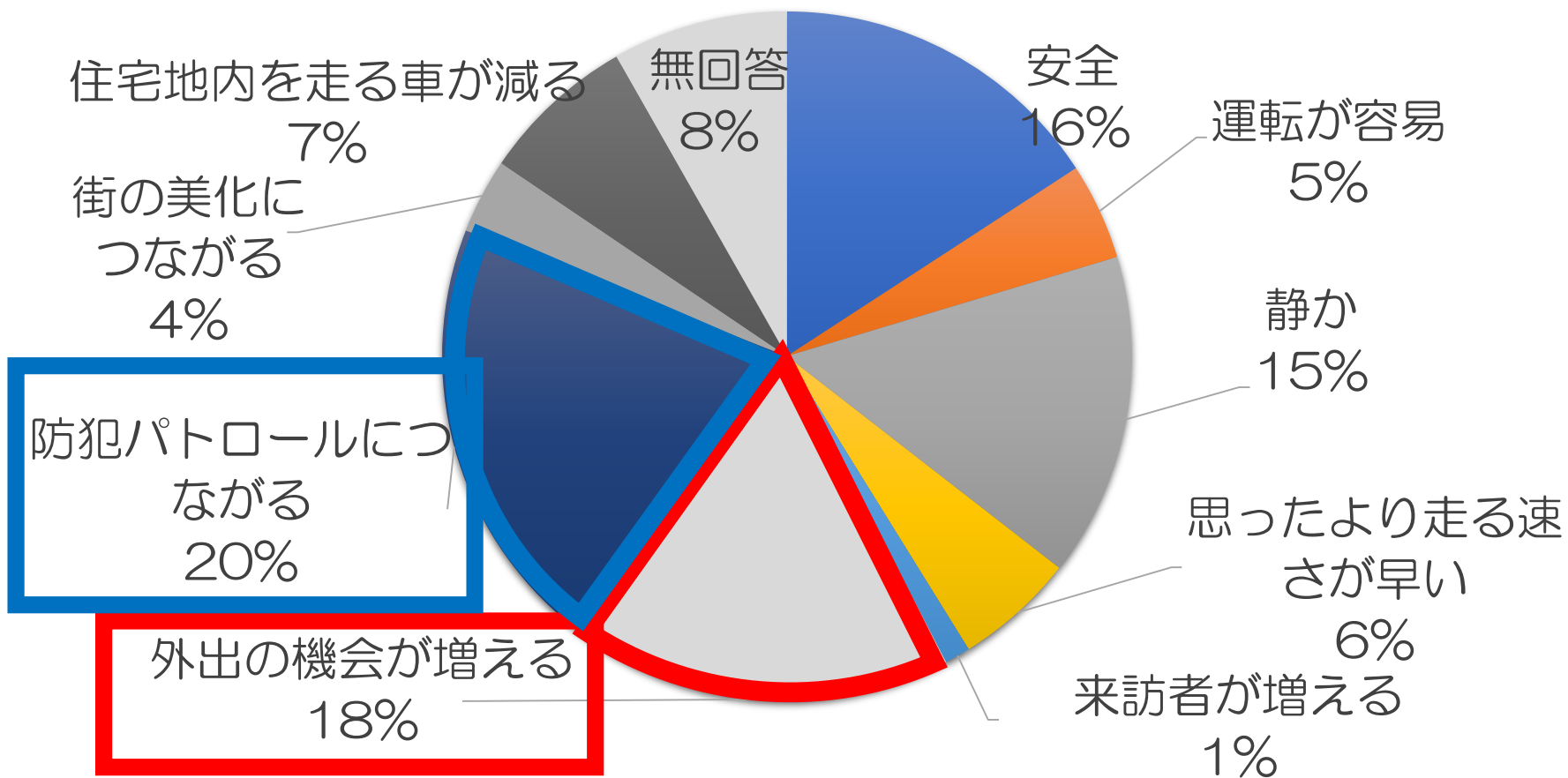




地域住民アンケート結果

N=1081

グリスロの効果・印象

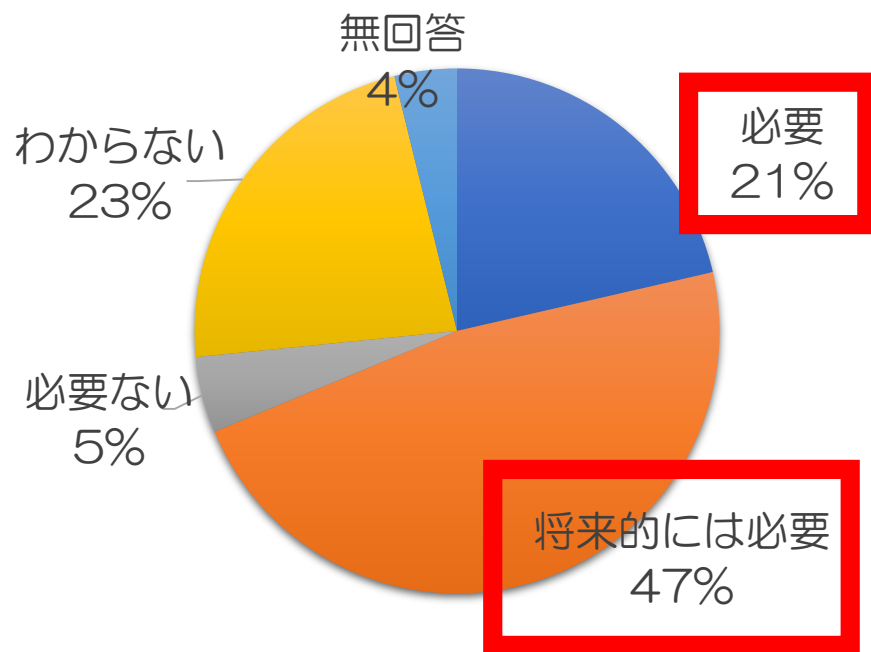




アンケート結果

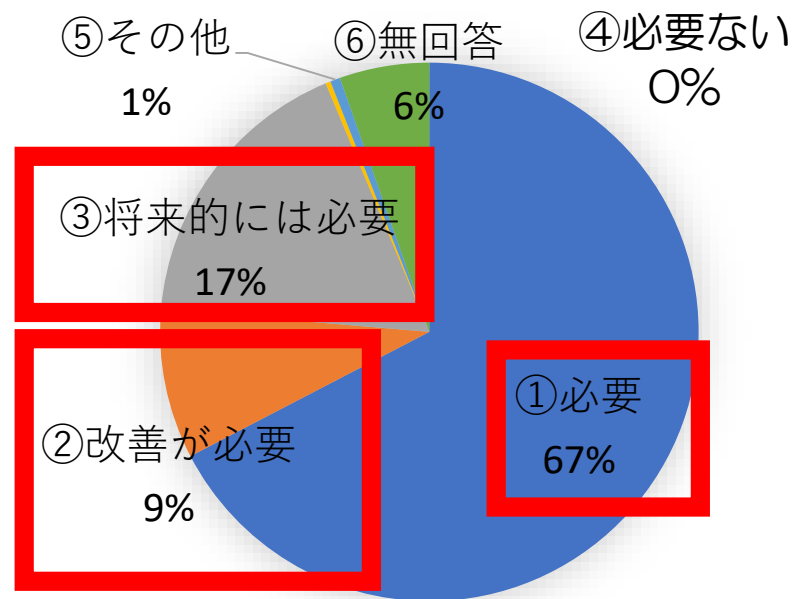
グリスロ必要性

地域住民 N=598



68%が必要

利用者 N=334



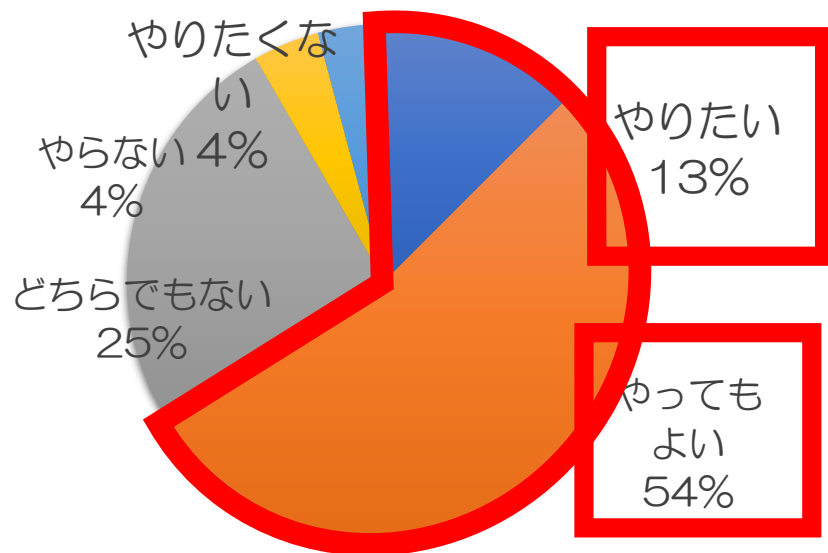
93%が必要



アンケート結果

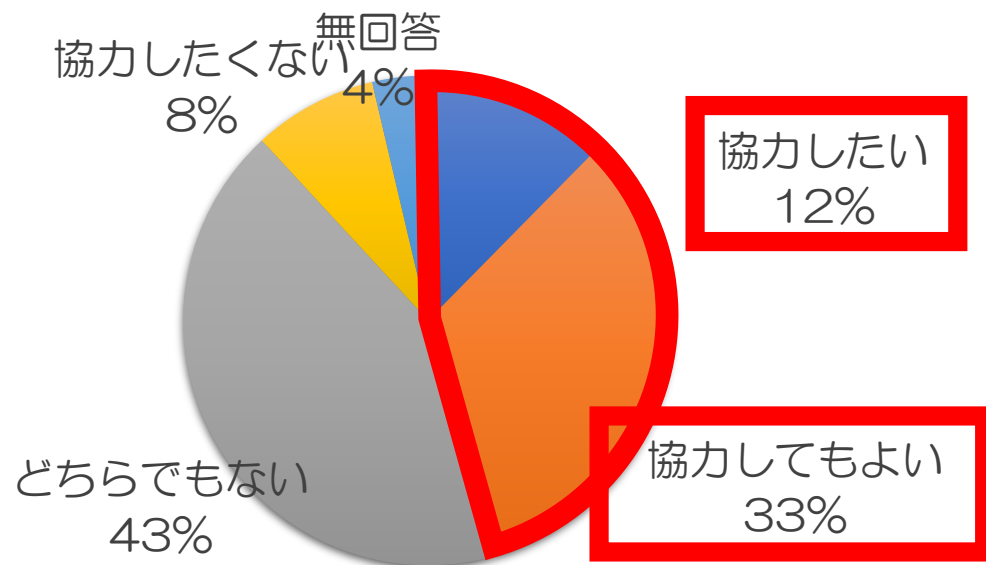
グリスロの運行に協力する意思

運行スタッフ N=24



67%が協力の意志あり

地域住民 N=598



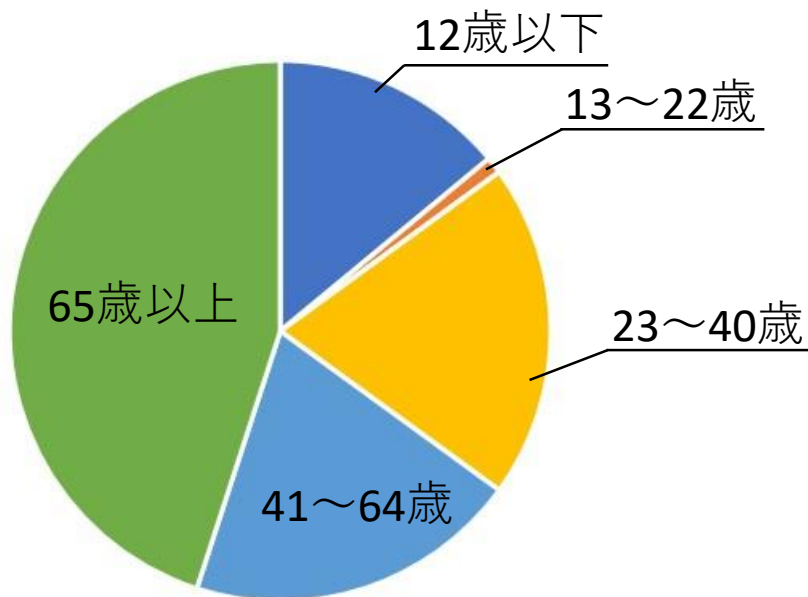
45%が協力の意志あり



都賀の台地区

利用者数等	アンケートからの意見等
<p>利用者数：約600名 運行期間：令和4年10月2日～20日 (10:00～15:00台) 便数：5便/日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者だけでなく塾に通う子供や、子供を連れてお母さんの利用も多数あった。 ● 非常に可能性のある乗り物だった。 ● 車両整備には改善の余地があると感じた。(パワステ・シートベルト・冷暖房など)

グリスロ利用者の年齢



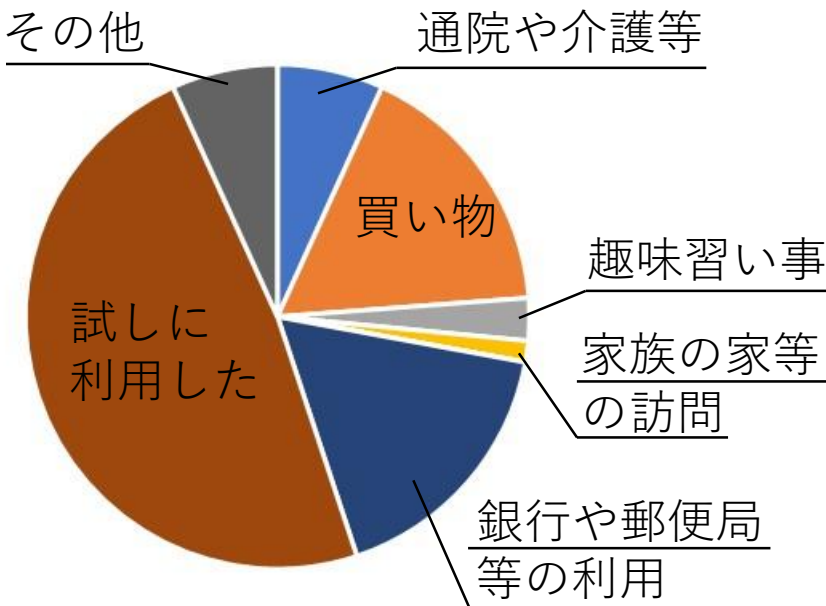


06 (参考) 令和4年度 実証調査について

こてはし台・横戸台地区

利用者数	アンケートからの意見等
利用者数：約240名 運行期間：令和4年10月24日～11月7日 (9：30～11：30台) 便 数：3便/日	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアに女性の参加も多かった。 ● 買い物、通院など多目的に利用してもらえた。 ● 地域内の距離が縮まったと感じる。 ● 車両整備には改善の余地があると感じた。(パワステ・シートベルト・冷暖房など)

グリスロの利用目的





幕張ベイタウン・ベイパーク地区

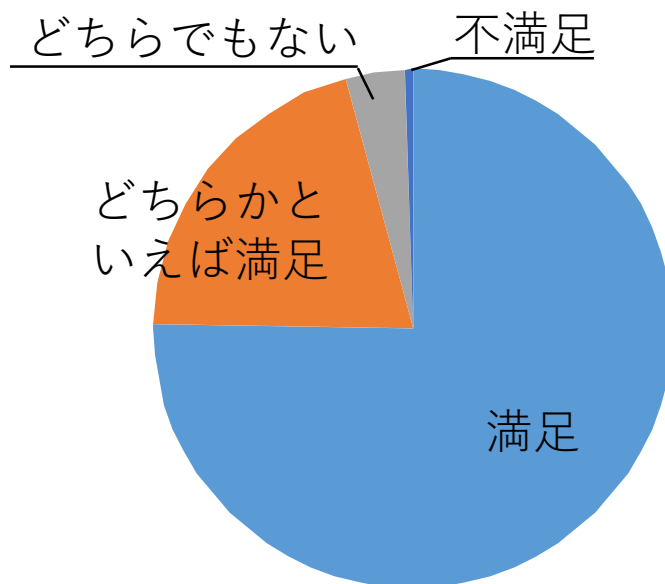
利用者数

アンケートからの意見等

利用者数：約270名
 運行期間：令和4年11月13日～27日
 (10:00～15:00台)
 便数：5便/日

- 運転手と利用者の会話が弾みコミュニケーション活性化に役立った。
- グリсроをきっかけに外出の機会が増えた。
- 車両整備には改善の余地があると感じた。(パワステ・シートベルト・冷暖房など)

グリсро満足度



ご清聴ありがとうございました。